

学位被授与者氏名	邢 子潞 (けい しろ)
論文題目	集合的ノスタルジアが外集団成員への態度に与える影響
論文審査結果の要旨	<p>これまでのノスタルジア研究において概念的には区別されてきた個人的ノスタルジアと集合的ノスタルジアをそれぞれ喚起させる条件を設定したことは、本研究の新しく独自の工夫として評価できる。また、ノスタルジア状態の高まりが外集団成員への信頼感を高める現象の議論に社会的アイデンティティ理論の視点を取り入れたことも新鮮な切り口となっている。しかし、実験結果は予測と異なっていたため、そこからもたらされる学術的な意義は一定のものはあるが、仮説そのものの見直しが必要であるのか、それとも実験方法の不備に由来するののかについては今回の研究だけでは判断できないところがある。</p> <p>先行研究は十分に読みこなされており、よく整理された研究史はくわしく丁寧に書かれている。実験の方法では、流行した年代が異なる音楽を聴かせることで喚起させるノスタルジアの種類を区別するという工夫がみられ、論文では、その方法が正確に具体的に記述されている。分析結果についても適切な記述がなされているが、もう少し踏み込んだ分析もできたように思われる。考察は結果をふまえて言えることが十分に書かれており、この研究の限界についても冷静に考察されている。</p> <p>2020年2月17日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-301教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>